

細木 病院

大規模災害を想定した 入院患者食事提供訓練を実施！

細木病院栄養管理室では、大規模災害に備えて、災害用備蓄食品やディスプレイ（使い捨て）食器などをストックしています。災害用備蓄食品には、「水で戻すアルファ化米」「魚や果物の缶詰」「レトルトカレー」などがあります。更新時期をずらして購入コストの分散を心掛けているものの、大量に発生する備蓄食品の消費期限前の使用は毎回一大事であり、メニュー調整にも苦慮していました。また、災害訓練時に、備蓄食品の消費を兼ねて訓練参加者に食事を提供したこともありましたが、通常の給食業務が動いている中で、別に100食もの食事を栄養士2名と調理師1名でカセットコンロを使って厨房外で用意した時には、準備不足や認識不足から大変でした。しかし、「実際、災害が起こったら…」「たぶん、無理…」「じゃあ、どうする?」との声が出た一方で、訓練が終われば課題が残されたままとなっていました。そんな中で、昨年6月に、電気工事に伴う長時間停電が行われることになり、この機会に、残されていた課題をスタッフみんなで共有しようとして、「災害時想定入院患者食事提供訓練」を実施しましたので、ご報告いたします。



訓練中の調理作業の様子

長時間停電のあった日曜日の午後、穏やかな雰囲気の中で訓練が始まりました。厨房での訓練には、病院栄養士3名と給食委託スタッフ11名が参加し、事前に打ち合わせした作業工程で調理作業を開始しました。皆さんも停電を経験したことはあると思いますが、予定停電であれば、備えをしてローソクや懐中電灯で明かりをとり、いつもとは違う空間であまり動かすにじっとしているのではないのでしょうか。ところが実際、停電の中、屋内で調理作業を行うのは、思っていた以上に大変なことでした。

◆想定外の暗さの中で訓練

まず、想像以上に真っ暗です。そして、電気が使えないということは、暗いだけでなく、使えないものがいっぱいあることも分かりました。情報共有が必要な献立表や食数ボードの近くに乾電池式ランタンを配置し、調理作業者はヘッドライトを着用しました。しかし、厨房スペースに対して十分な明かりを確保できず、食材の管理が疎かになっていく状態が見られました。換気ファンが使えない状態の中で、しかも蒸し暑い時期に、ガスコンロを使用したため、ドアや窓を開放し、乾電池式扇風機をフル回転させました。湿度がかなり上がって大変でした。

また、厨房機器が非常用電源に直結していない現状で、冷凍冷蔵庫がどの程度保持できるのかを知ることが今回の目的でした。1時間おきに冷凍冷蔵庫内の温度を確認したところ、調理作業中の開閉の多い時間帯に一気に温度上昇が見られました。

◆今回明らかになった課題

訓練実施後に参加者にアンケート調査をしたところ、今回の訓練で一番苦労した点として、①暗いこと、②冷凍冷蔵庫の保持に努めること、③暑いことがあげられ、改善が望まれました。

停電で使えなくなるもの

- ・照明機器
- ・換気ファン
- ・手洗い自動水栓
- ・FAX 付電話機
- ・ガス漏れ探知機
- ・冷凍冷蔵庫などのデジタル温度表示
- ・熱風殺菌消毒保管庫
- ・ほとんどの調理機器
- ・エレベーター
- ・空調
- ・電子カルテおよび給食システム



災害時用メニュー



ディスポ（使い捨て）食器の利用

た。災害時に不可欠と思われるものは、①照明器具、②人員、③調理用衛生用品（使い捨て手袋やアルコールスプレーなど）の順で必要度が高いことが分かりました。

災害時において、病院は業務継続が望まれます。そのためには、患者さんに食事の提供ができなければなりません。普段は当たり前前の食事ですが、今回の訓練で、非常時における食材管理や衛生保持には、日頃の意識づけや危機管理が大切だと実感しました。災害時にも対応できる厨房設備の強化、発災直後にも慌てない災害用食材の備蓄、ランニングストックによる災害時メニューの提案など課題もたくさん見つかりました。また、全然明るくないランタン、おいしくない非常食、使い勝手の悪いディスポ食器など、やって

みないと分からないことにもたくさん気づくことができました。

なお、今回の災害時メニューは、長期間保存パン、クリームシチュー、レトルト胡麻和え、野菜ジュースとディスポ食器を利用したごはん、厚焼き玉子あんかけ、高野豆腐と野菜の煮物、オクラのお浸しでした。

今回の訓練は、病院栄養士、調理スタッフにとって、とても有益なものとなりました。今後も「たまには電気を切ってサバイバル調理をしよう！」と調理スタッフに提案してみようと思います。

（栄養管理室長 橋本由佳）



時 事
エッセー



仁生会理事長
細木 秀美

元気で長生き
フレイル予防

聴に、歯は少しずつ抜け始め、皆が老いを感じだして、次第に虚弱になったなあと感じてくる。この「虚弱」のことを、老年病学会ではフレイルと名付けている。

20年間にわたって、6000名の高齢者の自立度を調べた結果、男性の19%、女性の12%が60歳以上で急速に自立度が低下していたそうだ。私もある老人ホームの嘱託医をしていて気が付いたのだが、このホームには大きな病気もないのに、60歳を少し過ぎたばかりの人が、既に杖をついたり、シルバーカーを押したりして歩いている。一般的には、脳血管障害や骨折、転倒、認知症などで

人は高齢になると、どんなにトレーニングをしても、次第に筋力が落ちることをサルコペニアという。60歳を少し過ぎた頃から、大きな病気はしなくても、眼は老眼に、耳は難

自立機能が衰えて、最終的には寝たきりになると考えていた。100歳以上の日本人は、約半世紀前には180名ほどだったが、昨年は6万人を超した。そして何と、110歳以上の方が全国で70名を超すという、凄い超高齢社会に入ってきた。こんな超高齢社会に突入すると、大きな病気はしなくても、若い時の生活習慣病やその他で、高齢者になっても日常生活に支障をきたす。身体の不具合を訴える人が増加する。高齢になってもできる限り歩いたり、頭の体操をして、フレイルに陥ることがないように、日頃から気を付けなければならない。若い頃は、食べ過ぎないように気を付けて生活習慣病を予防し、高齢になれば反対に、たんぱく質の多い、栄養のある物を食べて、筋力を維持しよう。それには歩くのが一番である。歩いて歩いて、タクシーやエレベーターは極力避けよう。そして、100歳まで元気で天寿を全うして、ピンピンコロリで天国に迎えてもらおう。



細木秀美理事長が支部長を務める日本病院会高知県支部と、高知県医師会病院部会、全日本病院協会高知県支部、日本医療法人協会高知県支部、日本精神科病院協会高知県支部の高知県5医療団体の共催による、平成28年度第2回講演会が1月

28日に高知共済会館において開催されました。今回は、北海道函館市の社会医療法人高橋病院理事長の高橋肇先生に「地域包括ケアシステム時代におけるICTの上手な活用方法」医療・介護の効率的な情報連携を

目指して」と題してご講演いただきました。講演会には県内の医療関係者が多数参加され、地域の医療連携のシステムづくりの参考となる具体的な取り組みを聞くことができ、大変有意義なものとなりました。



た本人またはその遺族が、直接、PMDAに行います。が、その際、医師の診断書や投薬・使用証明書、あるいは薬局の販売証明書等が必要となります。救済の対象とならない場合もありますが、該当するのではと思われる場合は、医

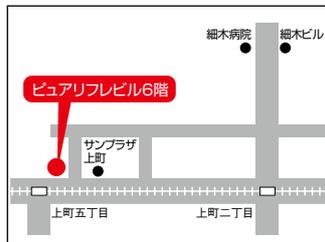


高知県5医療団体共催 平成28年度第2回講演会開催



ピュアリフレビル

地域包括ケアシステムの推進に向け、より一層皆様のご期待にお応えできるよう、サービス向上に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



細木病院

在宅部の事業所が
移転しました!

◆細木ビルから「ピュアリフレビル6階」に移転した事業所

新住所：〒780-0901 高知県高知市上町5丁目4-1
ピュアリフレビル6階

事業所名	電話番号
【居宅介護支援事業所】 ケアサポートセンターほそぎ	☎088-875-7710 ☎088-875-6930
【訪問介護事業所】 ホームヘルパーステーション城西	☎088-871-5965
【訪問看護事業所】 訪問看護ステーション高知西 高知市北部地域高齢者支援センター 城西出張所	☎088-825-4387 ☎088-871-5963

*電話番号、FAX番号、事業所番号は変更ありません。

細木病院

医療安全・医薬品安全研修会
「医薬品副作用被害救済制度」開催

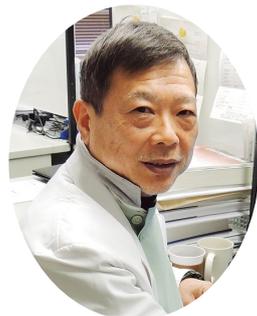
2月1日、細木病院新館地下高行記念講堂にて、医療安全・医薬品安全研修会「医薬品副作用被害救済制度について」を開催しました。今回は、医薬品医療機器総合機構（PMDA）が、制度の広報の一環として、医療機関や自治体に講師を派遣する出前講座を利用した研修会で、当院以外の医療関係者を含め83名の参加がありました。PMDAとは、医療

品・医療機器等の承認審査、安全対策、健康被害救済の3つの業務を行う厚生労働省所管の独立行政法人です。医薬品副作用被害救済制度は、医薬品（薬局などで購入した医薬品を含む）を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用により、入院治療が必要な程度の重篤な疾病や障害等の健康被害を受けた方に、救済給付を行う公的な制度です。救済給付の請求は、健康被害を受け

た本人またはその遺族が、直接、PMDAに行います。が、その際、医師の診断書や投薬・使用証明書、あるいは薬局の販売証明書等が必要となります。救済の対象とならない場合もありますが、該当するのではと思われる場合は、医師、薬剤師にご相談ください。医薬品は、十分に注意を払い、正しく使用したとしても、副作用等を完全に防ぐことは難しいといわれています。そんな場合に役立つ救済制度を知っておくことは、医療関係者として大変重要なことだと思われました。（薬剤室長 小松めぐみ）



交通事故・医療事故の心理的側面 『落語』刻そばにみる意識の隙間



細木病院麻酔科部長
畠中豊人

皆さんは、交通事故ってなぜ起こるんだらうと考えたことがありますか？運転免許の更新講習では色々なスライドを見せられ、事故防止のための講義を受けます。そこでは交通ルールを守ることや無謀運転をしないことといった、誰もが知っている当たり前のことが、事故の恐ろしい映像とともに語られます。しかし、そんな講習を受けるまでもなく、事故の恐ろしさは誰もが既に十分に知っているのです。にもかかわらず、一部の不注意者を除き、ルール違反や無謀運転もしていないのに、それでも事故は起こる。大半の原因を言葉にすると『安全確認義務違反』ということになるのですが、決してそうした人々が意識して安全確認を怠ったわけではない。一体これは、どういうことなのでしょう？

さて、話は変わりますが落語の『刻そば』という話をご存じでしょうか？間抜けな主人公の目の前で行われる、巧妙なやり取りが秀逸です。蕎麦を食

べ終えた洒落ものAが、蕎麦屋の親父Bに勘定を支払う時に問いかけます。A「親父いくらだ？」 B「へい、十六文でございます」 A「そうか、細かいから手をだしな、ひい、ふう、みい、よう、いつ、むう、なな、やあ、へ親父、今、何ときでい？」 B「へい、へこのついでい」 A「とう、十一、十二、十三、十四、十五、十六、ご馳走さん」 洒落ものは悠々とその場を後にします。どうですか、皆さん。見事ですよね。一瞬の意識の隙間をつく、時を尋ねる掛け声、時間と空間の中に一文銭が溶け込みます。間抜けな主人公はこれをまねるのですが、仕掛けの時間を間違えて、余分にお代を支払うという『落ち』がつきます。 ここで表現された一瞬の隙をつくこの『掛け声』こそが、交通事故の隠れた原因だと、常々、私は思っています。意識を遮る何らかの不意の介入があったときに、人は一瞬、安全確認を忘れるのです。どうですか？事故を起こしたことがある方も、危機一髪で助かったことのある方も、思い当たることがきつとあるのではないのでしょうか。だからこそ、不意に飛び込んでくる、意識を遮る出来事に備えて、危ない場所



では、どんな時でも『一旦停止』を遵守しようということになるのですよね。 交通事故と同じように、医療事故でも同様のことがいえます。一人の患者さんの対応をしている時に、あるいは一つの作業をしている時に、突然入ってくる電話のベルや別の患者さんのコール、たとえ小さくても予想外の不意の出来事が、刻そばの『掛け声』となり、医療者の意識を遮ることにあります。そして、作業の中断が思い違いや取り違えを生むことになるのです。 私の働いている細木病院手術室では、このようなミスを防ぐために、『タイムアウト』といって、手術の始まりに必ず『一旦停止』をするようにしています。そして、複数のスタッフで患者さんの名前や病棟部位、術式などを確認しています。病棟でも重要な確認は、必ず複数スタッフで行うようにしているのと言つまでもありません。ですから、皆さんどうぞ安心して、当院での診療、手術をお受けください。

細木病院 ギャラリー 『土佐弁と絵手紙』 でほっこり!!

細木病院新館地下のフロアにおいて、堀見忠司院長が懇意にしている佐川町の刈谷比登志さんが描いた、とても趣のある作品『土佐弁と絵手紙』を展示（4月末までの予定）しています。皆さん、ぜひご鑑賞ください。



木
二
病
院
細
工

お父さん、お母さんの 職場を訪問しました！

昨年の12月28日に、次世代育成支援の一環として、細木ユニティ病院に勤務する職員の子どもたちがお父さんやお母さんの職場を見る、仕事を体験する「子ども参観日」を開催しました。小学生から中学生の7名の子どもの参加がありました。



当日は、保護者と一緒に朝の通勤体験をした後、子どもたちは自分の名刺を作成し、病院内の見学や保護者の職場を訪

確認を手洗いチェックカーを用いて体験しました。
参加した子どもたちからは、「人の役に立つ仕事をしてみたいと思った」「親の仕事がどんなのかわらなかつたので分かってよかった」「お父さん、お母さんが、かっこ良かった」「超楽しかった」「また

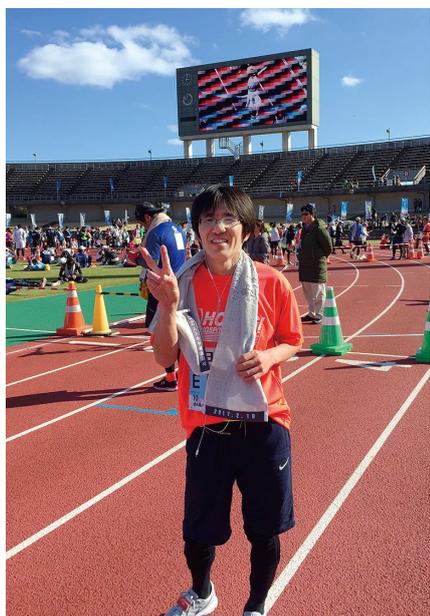
参加したい」などの感想が聞かれました。保護者からは「家庭とは違う職場の姿を見せることができてよかった」「親子の会話が増えた」などの感想がありました。

子どもたちが、保護者の働く姿を間近で見ることにより、自分の将来や「働く」ということについて考えたり、家庭で仕事について話し合うなど、コミュニケーションを深めるきっかけになったと思います。
(看護部副部長 岡崎郁子)



細木病院グループから 高知龍馬マラソン20ノックに挑戦

2月19日に開催された高知龍馬マラソンに、細木病院グループから約20名の職員が、おそろいの特製のTシャツを着てチャレンジしました。



今年で5回目の高知龍馬マラソンですが、私にとっては人生初のフルマラソン！これまで健康マラソンなど短い距離を走ったことはありませんが、42・195kmは初挑戦。今年から制限時間が1時間延びたこともあり、まずは完走を目指し

てのチャレンジとなりました。当日は快晴で、風もあまりなくとても走りやすいコンディションでした。大勢のランナーが参加していたので、スタートの号令があつてから8分ほどしてようやくスタート地点を越えることができました。15km地点までは順調で、不安のあった膝に負担をかけるようなペースを落とし、最大の難所「浦戸大橋」を越え、22km付近までは走ることができたのですが、そこから足が重くな

り、走るといよりは歩いてゴールを目指すこととなりました。浦戸大橋あたりまでは景色を眺める余裕がありましたが、残り半分は景色を楽しむ余裕もなく、ただ黙々と前へ進み続けました。何とか5時間59分1秒と6時間以内でゴールすることができました。沿道の皆さんの温かい応援に支えられ、完走(完歩?)することができました。来年もぜひ参加し、次こそは走り切つてゴールしたいと思います。
(三愛病院
デイサービスいろは
主任 竹口伸也)



永年勤続 20 年表彰・旅行記

昨年度に永年勤続 20 年表彰を受けた職員は、贈呈された旅行費用と 5 日間の特別有給休暇を使って、思い出に残る楽しい旅行をされています。今回その旅行記を 2 つご紹介いたします。

細木ユニティ病院
グループホーム管理者
精神保健福祉士
坂本 万理



永年勤続 20 年表彰をいただき、昨年の 7 月に 3 泊 4 日で島根県と岡山県へ旅行に行きました。久しぶりに夫と 2 人での旅行となりました。最初はどこに行こうかと悩みましたが、夫の趣味でもあるお城巡りと出雲大社に行ってみようということになりました。

3 日目は、夫の郷里でもある岡山県の備前中松山城へ行きました。そこは、夫が以前から行ってみたいと言っていた山城でした。国の重要文化財で、現存する大守を持つ山城としては最も標高の高い場所にあります。この山城は、昨年の大河ドラマ「真田丸」



のオープニング映像にも出ていて、多くの観光客が来るようになったそうです。

また、今回の旅行の楽しみに、宿泊先がありました。同僚に教えてもらった、星野リゾートが運営する旅館のひとつ「界・出雲」です。お出迎えから食事、入浴、お見送りまでのすべてにおいて「おもてなし」が感じられるものでした。宿泊中、旅館のスタッフが雅楽を演じるのを見ながら、かき氷をいただきました。花火もできて、風情のある夏の夜を過ごせました。めったに見る機会はない雅楽の世界を感じることもできました。

細木病院
外来看護師
石黒 英子

永年勤続 20 年表彰で、主人と息子との 3 人で 3 泊 4 日の家族旅行に行ってきました。

旅行初日は、徳島港からフェリーで和歌山に渡り、自動車道で三重県に入り、お盆休みの時期だったので、渋滞がすごくて、宿泊地のナガシマスパーランドに着いたのは夕方 5 時を過ぎてからでした。疲れていたのですが、花火を見たいのと、少しでも待ち時間が少ないときに人気のアトラクションに乗りたくて、夕食後に遊園地に行きました。でも人気の遊園地なので 8 時を過ぎて人も人がたくさん！アトラクションは 2 つだけ乗り、花火を見て楽しみました。花火も夜の遊園地もとてもきれいでした。

2 日目は、朝から遊園地入り。8 時の開園とともに人が続々と集まり、併設されているプールもすごい混雑ぶりでした。当然、遊園地の人気のアトラクションは 3 時間待ちに。結局、人気なのは昼間に乗るのをあきらめて、子どもも乗れるアトラクションなどで楽しみました。息子は身長制限で乗れないアトラクションも多くて悔しがっていました。

夕方には人混みにも暑さにも疲れてきたので、いったんホテルに戻り休んでから、併設されているアウトレットに行きました。時間が足りなくてじっくりと見られなかったのが残念でした。夕食後に、疲れを押し再度遊園地へ。花火と昼間に乗れなかったアトラクションに乗って楽しみました。その後は、ホテルに併設されている温泉施設に行き、露天風呂で疲れを癒しました。

3 日目は、息子の希望の名古屋アンプマンこともミュージアムに。そして 2 泊したナガシマスパーランドを後にして、主人待望の鈴鹿サーキットへ。当初行く予定にしていなかったのですが、滞在時間は 2 時間も取れなかったのですが、主人は大満足でした。そして、最終宿泊地の大阪へ。予定変更と渋滞のため、着いたのは夜の 9 時頃でした。疲れていたのですが、USJ や天保山の観覧車が見えるホテルだったので、きれいな夜景に癒されました。

最終日は、海遊館でジンベエザメを見たり、名物のたこ焼きを食べたりして帰りました。家族それぞれが行きたい場所に行けて大満足の旅行になりました。ありがとうございました。



細木ユニティ病院

音楽療法コンサートのご案内

音楽には人の心を癒し元気づける力があります。音楽療法は、音楽の持つ力を活用しながら、心身の健康維持・増進、生活の質の向上を促進する療法です。

細木ユニティ病院では、月 2 回ほど、S館 6 階で音楽療法コンサートを開催しています。

無料で公開していますので、一般の方もお気軽にお越しください。

*駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

ハワイの文化を学び、ハワイのアロハを感じ、それを皆さんに伝えるべく活動しています。高知県内に 50 人ほど所属しており、西は土佐清水から東は室戸まで 50 ほどの教室があります。定期発表会や病院、施設などへの訪問、イベントなどにも多数出演しています。

仙頭美都子

出演：ルアナと楽しい仲間たち
(日比愛子、井上喬子、岡林沙由子、)

4月28日(金) 午後2時
出演：ルアナと楽しい仲間たち

第376回 ◆アロハで楽しく!!

「おりに」音階をつけた楽器「久乗編鐘(きゆのつじょうへんしよつ)」による癒しの演奏をお届けします。富山県高岡市の仏具製作販売店「山口久乗」が中国の古代楽器である編鐘を現代風にアレンジし開発した楽器です。
「ひびき」さんは、高岡大仏奉納、二上山弘舎利塔奉納など寺院での演奏のほかコンサート、イベントでの演奏や、2013年にはアルバム「凜」を発表しています。



4月21日(金) 午後2時
出演：おりにユニット ひびき

第375回 ◆ゆったり、まったり〜おりの響き〜

ご存じですか!? ソーシャルワーカーからのミニ情報

患者会・家族会について



突然の病气やけがによって、これからの家庭生活や仕事、就学などの社会生活に不安や困りごと感じている方も多いのではないかと思います。県内には当事者であるご本人とサポートするご家族を対象に、認知症、脳卒中、指定難病などについての患者会・家族会の活動があり、当事者同士が定期的なレクレーションや研修会を通して、日常生活での不安

や困りごとについて語り合い、お互いに生活のアドバイスを得ています。患者会・家族会の活動は、各団体によって活動頻度、内容はさまざまです。詳しい内容等につきましては、こちら難病相談支援センターまたは細木病院患者サポート室までお問い合わせください。

(地域連携推進センター 患者サポート室 千頭賢子)

あなたとあゆむ

積善会ニュース NO.103

有限会社 積善会

〒780-0926 高知市大膳町 5-6 細木ビル 5F
TEL : 088-873-0146
FAX : 088-873-0147

《売店》

細木病院 新館地下
088-822-7211(代)/内線1610
三愛病院 1階
088-845-5291(代)/内線260

～ ナースシューズ・カーディガンのご案内 ～

スプリングセール実施中!!

セール期間は3月31日まで
お早めにお買い求めください。



季節の変化や周りの温度に合わせるカーディガンはオフィスの必需品です。体調管理の一助に暖かく着心地の良いカーディガンをこの機会にお買い求めください。



メーカー希望価格より3割引

お取り寄せ商品になりますので、早めのご予約・ご注文をお願いします。(お届けまでに1週間程度要する場合があります。)

機能性に富んだナースシューズが勢揃い!!

傷んだりサイズの合わない靴を履いていると、気づかぬうちに姿勢が悪くなったり疲労がたまりがちに…。この機会にあなたにぴったりのシューズを探してみませんか?

メーカー希望価格より3割引



(有)積善会がお届けするインターネットショップ Zenショップが新しくなりました。

新製品も続々登場!!
ぜひ一度ご覧ください。

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/zen-shop100>



今月の健康目標 『主菜・副菜バランスよく、元気のもとは食事から』

外来担当医表



平成 29 (2017) 年 4 月 予定

じんせい平成29年3月号 (No.363)

診療科	月				火				水				木				金				土	
	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M
総合診療科	堀見丸山	中村			堀見丸山	高橋	白神	高橋	白神	高橋	白神	丸山・猪狩	堀見丸山	堀見丸山								
一般内科	(篠原)猪狩	細弘	木瀬	松田(丸山)	篠原	高橋(篠原)	菅沼	高知大教授	菅沼	高知大教授	菅沼	高知大教授										
専門	呼吸器内科	白神	小林	小林								白神										
	消化器内科			中内								(高橋)	中内									
	循環器内科	高知大瀬尾教授		山中				山中			山中	高知大松村教授										
	糖尿病・内分泌内科	篠原西岡	丸山	熊谷	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡
	糖尿病センター	熊谷中村			西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡	西岡
	腎臓内科				(西岡)																	
	内視鏡センター	中高内橋	中高内橋	弘高瀬橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋	中高内橋
	外科	上地尾崎	尾崎	尾崎	堀見	堀見	堀見	堀見	堀見	堀見	堀見	堀見	堀見	堀見	堀見	堀見	堀見	堀見	堀見	堀見	堀見	堀見
	乳腺・甲状腺		尾崎																			
	おしりの外来	(堀見)																				
	緩和ケア科	完全予約制			安藤	安藤						安藤										
	脳疾患センター(脳神経外科)	栗坂	(手術)	栗坂				高知大上羽教授				栗坂										
	整形外科	1診	北岡	担当医	山川	北岡	山川	山川	山川	山川	山川	北岡	高知大池内教授	北岡								
		2診	山川	高知大武政	南場	南場	南場	南場	南場	南場	南場	山川	高知大池内教授	山川								
	小児整形外科																					
	小児科	1診	堂野	新井	新井	新井	新井	新井	新井	新井	新井	堂野	中岡	新井	堂野							
		2診	細川	堂野	中岡	堂野	堂野	堂野	堂野	堂野	堂野	細川	中岡	細川								
	神経小児科	完全予約制	細川																			
	小児こころの外来	完全予約制			島崎	島崎																
	耳鼻咽喉科		樋	樋	樋	(手術)	樋	樋	樋	樋	樋	樋	樋	樋	樋	樋	樋	樋	樋	樋	樋	樋
	泌尿器科				蘆田							井上										
	放射線科		耕崎								耕崎	耕崎	耕崎	耕崎	耕崎	耕崎	耕崎	耕崎	耕崎	耕崎	耕崎	耕崎
	セカンドオピニオン外来	完全予約制	(細木)																			(栗坂)
	健康管理センター	(健康・人間ドック)	森下		森下			森下	森下・弘瀬	森下	森下・弘瀬	森下	森下・弘瀬	森下								
	乳がん		尾崎		上地							上地										
	子宮がん				濱脇																	
	細木ユニティ病院				吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡
	精神科	再診	吉川	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡	吉岡
	心療内科	新患		吉川	弘井	岡村	岡村	岡村	岡村	岡村	岡村	吉川	吉岡									
	内科		松田									岡村(遠方)	松田									
	内科	1診	深田	小野寺	深田	細木	坂本	中川	中川	中川	中川	高知大川	高知大小笠原	高知大野								
		2診	上村	綿貫	小野寺	綿貫	高知大松	高知大松	高知大松	高知大松	高知大松	高知大松	高知大松	高知大松	高知大松	高知大松	高知大松	高知大松	高知大松	高知大松	高知大松	高知大松
	内視鏡		小野寺																			
	小児科		橋詰		高知大石原	高知大浦木						橋詰										
	耳鼻咽喉科		市川		市川	市川	市川	市川	市川	市川	市川	市川	市川	市川	市川	市川	市川	市川	市川	市川	市川	市川
	レディス外来				箱良							箱良										
	整形外科	高知大五十嵐			高知大岡上							森田										
	皮膚科	高知大五十嵐			高知大岡上							森田										
	形成外科(美容)	三好			三好							三好										
	もの忘れ・不眠外来	高知大五十嵐			高知大岡上							森田										
	放射線科		岩井		岩井							岩井										
	健診室		担当医		担当医							担当医										
	日高クリニック																					
	診療科																					
	小児科・内科																					
	整形外科																					

★内科初診時は、基本的に専門の内科ではなく、総合診療科または一般内科での診察となります。

第二次救急医療施設(救急告示病院)

細木病院

〒780-8535 高知市大膳町37 ☎822-7211(代)

予約電話 873-3806
ただし、小児科は 822-7211

【健康管理センター】
予約電話 822-7264

()のドクターは兼務です。

★初診の方は予約制です。(8:30以降に外来まで、お電話でご予約ください)

〒780-8535 高知市西町100 ☎802-3366(代)

★小児科の受付は、月・水・木・金は午後5時30分までです。(火曜日は午後5時で受付終了)

〒781-8136 高知市一宮西町1-7-25 ☎845-5291(代)

〒781-2153 高岡郡日高村本郷電ノ前7 ☎0889-24-7785(代)

発行人 細木秀美
印刷所 株式会社高知新聞総合印刷
〒781-2153 高岡郡日高村本郷電ノ前7 ☎0889-24-7785(代)



仁生会のホームページへ
<http://jinsei-kai.c.ooco.jp/>



仁生会は、国の次世代育成支援一般事業主認定と高知県次世代育成支援企業の認証を受けています。